輝いていたこどもと若者

◀昭和 35（1960）年８月　南花屋敷４丁目付近

台風 16 号が近畿地方を襲い、川西市内でも甚大な被害が出ました。南花屋敷にあった雲雀丘センターも床上浸水しました。写っている子供は誰かを探しているのでしょうか。首から家の鍵をぶら下げている、いわゆる”カギっ子”です。現代では防犯上、首から鍵をぶら下げさせるわけにはいきません。

昭和 37（1962）年 10 月　川西中学校か？▶

日本国際生活体験協会（EIL）の体験生としてアメリカから学生たちが川西を訪れ、中学校を見学しました。右から２番めの中学生の表情がとても印象的です。

▲昭和 42(1967) 年４月　川西北小学校（丸の内町）

川西市の 14 歳以下の子供の人口は、昭和 50 年には約３万４千人だったのが、令和２年には役１万８千人になっています。写真は川西北小学校の入学式の様子で、体育館に新入生がぎっしりと並んでいます。

昭和 40（1965）年７月 15 日　水難者慰霊祭＠多田大橋東詰（多田院町）

猪名川沿いの多田大橋東詰で執り行われた水南者慰霊祭の様子。このころは毎年夏に猪名川や池で溺れて亡くなる子供や若者が多くいました。市の広報紙でも注意を呼び掛ける記事が載っていました。

▲昭和 40（1965）年１月　一の鳥居付近

小学生たちが冬の里山に入ってウサギ狩りを楽しんでいます。最後に１匹の野ウサギが捕まり、子供たちは歓声を上げています。この後、ウサギは放してもらったのでしょうか。このころはウサギ狩りは一般的なレクリエーションでした。この写真が撮影されたのは能勢電鉄・一の鳥居駅付近の里山で詳しい場所は不明ですが、今では大型住宅団地に姿を変えているのかもしれません。

輝いていたこどもと若者

◀昭和 40（1965）年夏　国道 176 号・呉服橋西詰（小戸２丁目）

呉服橋は猪名川に架かり、川西市と池田市を繋いでいます。写真は中学生と思われる生徒たちが橋上に溜まった泥を清掃している様子を写しています。夏休み中でしょうか、ランニングシャツに半パン姿や、腹巻をしている生徒もいます。生徒たちの背後には商店が並んでいますが、今では道路が拡幅され、ほとんどの商店がマンションに建て替わるなどして姿を消しています。

▲▶昭和 34（1959）年　川西中学校（松が丘町）

体育大会の様子ですが、鉄棒の大車輪やマット上での倒立など、今ではあまり演じられない、体育色の強い演目が披露されています。大車輪を演じる生徒は学校中のヒーローだったのでしょう。

▲昭和 42(1967) 年８月 12 日　旧・川西市役所（中央町）

第９回納涼音楽祭が旧市庁舎前で開かれました。前年にビートルズが来日公演を日本武道館で行い、その後、昭和 44（1969）年ごろまでグループサウンド・ブームが日本中で巻き起こりました。川西でも若者たちがエレキサウンドに熱狂したことを写真は語っています。ドラマーが着ている VAN の T シャツは流行に敏感な若者の必須アイテムでした。

▲◀昭和 35（1960）年５月　小花２

ボーイスカウト (BS) 川西第１団が結成され、記念して (旧) 川西市役所 (中央町) から川西小学校（栄根 1）までパレードしました。当時は青少年の「不良化」が社会問題となっていて、健全に育成する環境づくりが急務でした。このような中で結成された BS には大きな期待が寄せられ、パレードには BS 隊員以外に中学校の吹奏楽部なども参加して盛り上げていました。パレードを見つめる子供の姿が印象的です。背後の映画のポスターは下が『青い果実』（池田中映）で上は不明です。